R2. 5. 20　第1回協議会

資料No. 1

公共交通利用状況

《目　次》

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績 ・・・・・・・ P1
2 高校生通学ライナーバス利用実績 ・・・・・・・ P5
3 井栗地区コミュニティバス利用実績・・・・・・・ P6
4 循環バスぐるっとさん利用実績 ・・・・・・・ P7
5 須頃線利用実績 ・・・・・・・ P10
6 集計結果の考察と今後の改善策 ・・・・・・・ P11

令和2年5月20日(水)

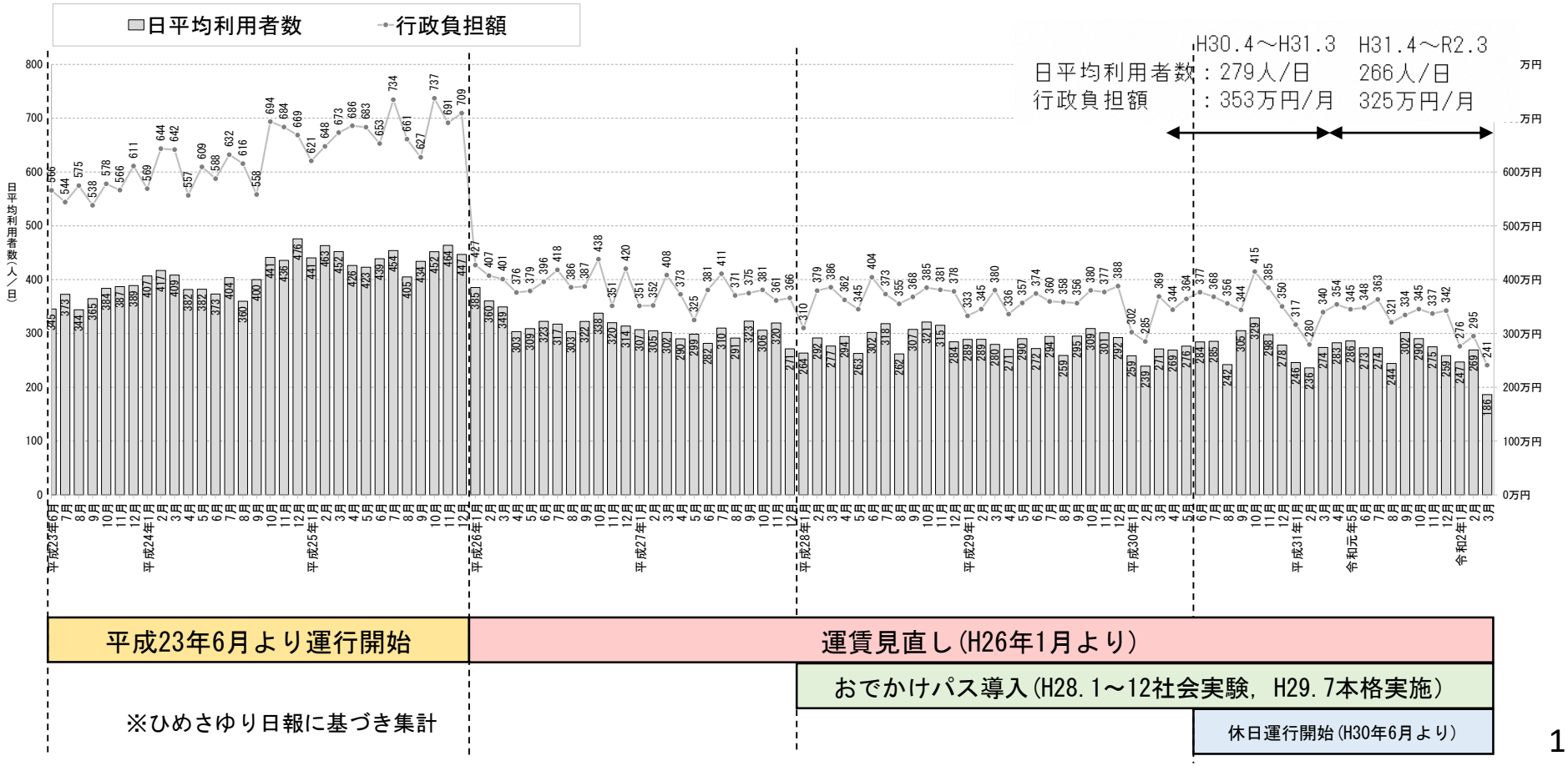
三条市地域公共交通協議会

1　デマンド交通ひめさゆり利用実績

(1)利用者数と行政負担額の推移(令和元年度、平日)

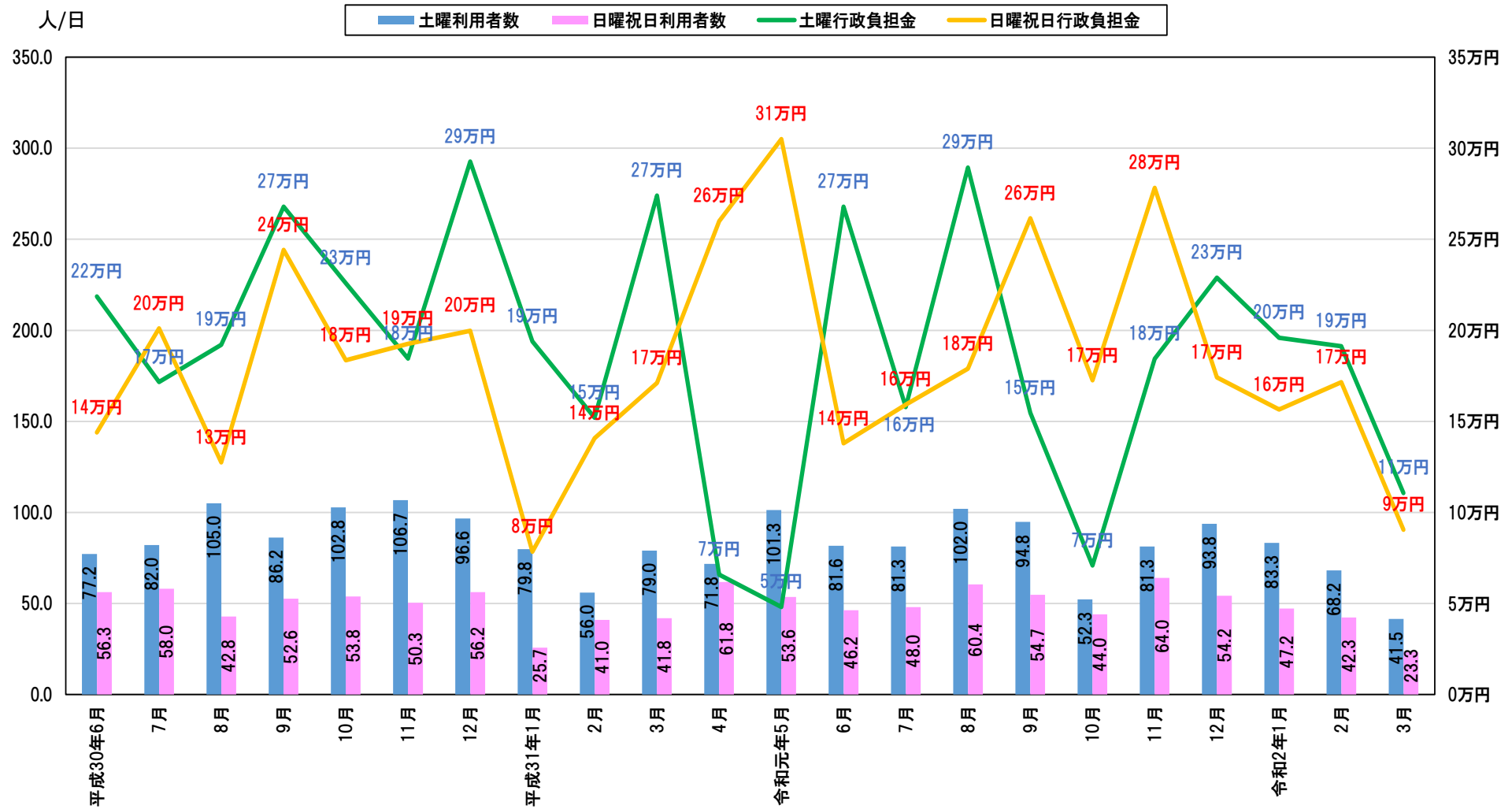
●「ひめさゆり」の利用者数は、約266人/日、行政負担額は、約325万円/月で、平成30年度(利用者数:279人/日、行政負担額:353万円/月)と比較して、それぞれ減少した。

参考:R1年度目標値 350人/日



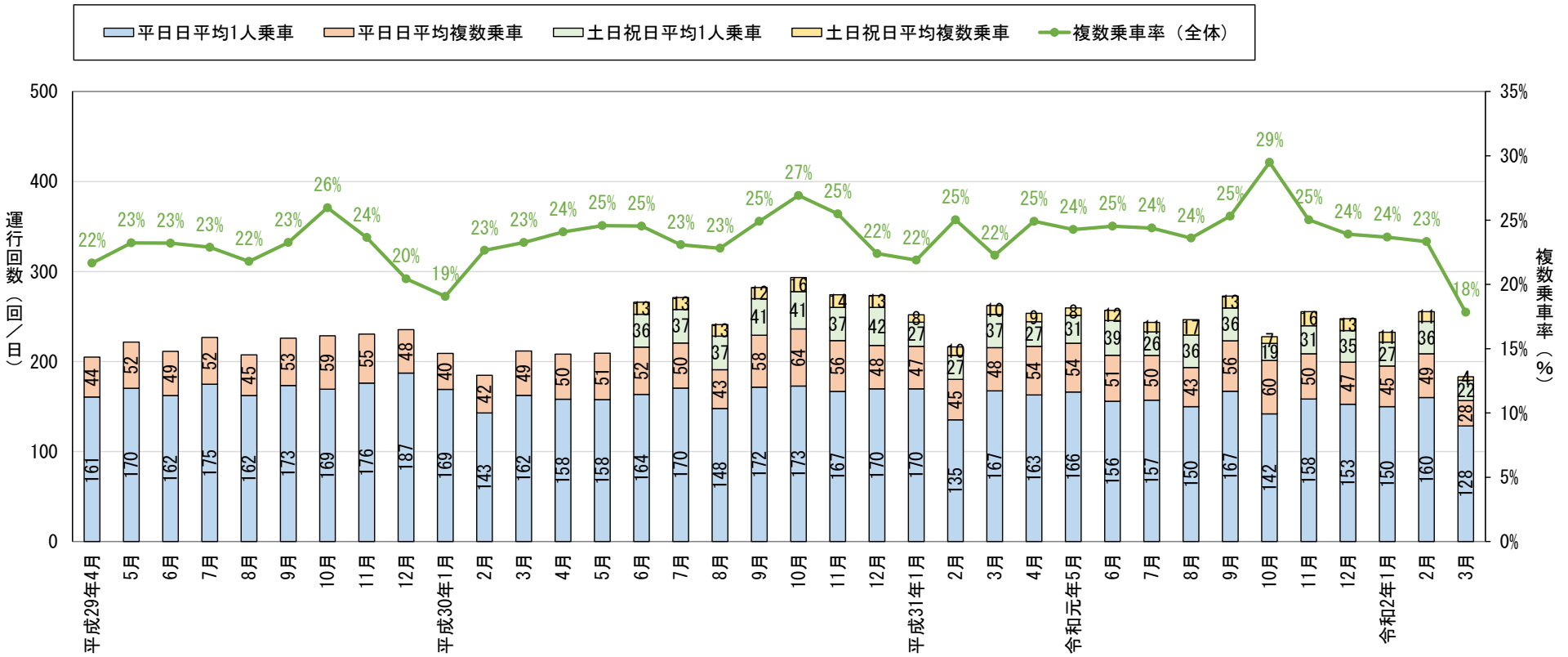
(2)土日祝日の利用状況(令和元年度)

- 令和元年度の土曜の利用者数は約81人/日、日曜は約53人／日となっている。
- 平成30年度(社会実験時の利用者:約85人/日、日曜は約53人／日)と比較して土曜、日曜祝日ともに微減となった。



(3)複数乗車率の推移(令和元年度)

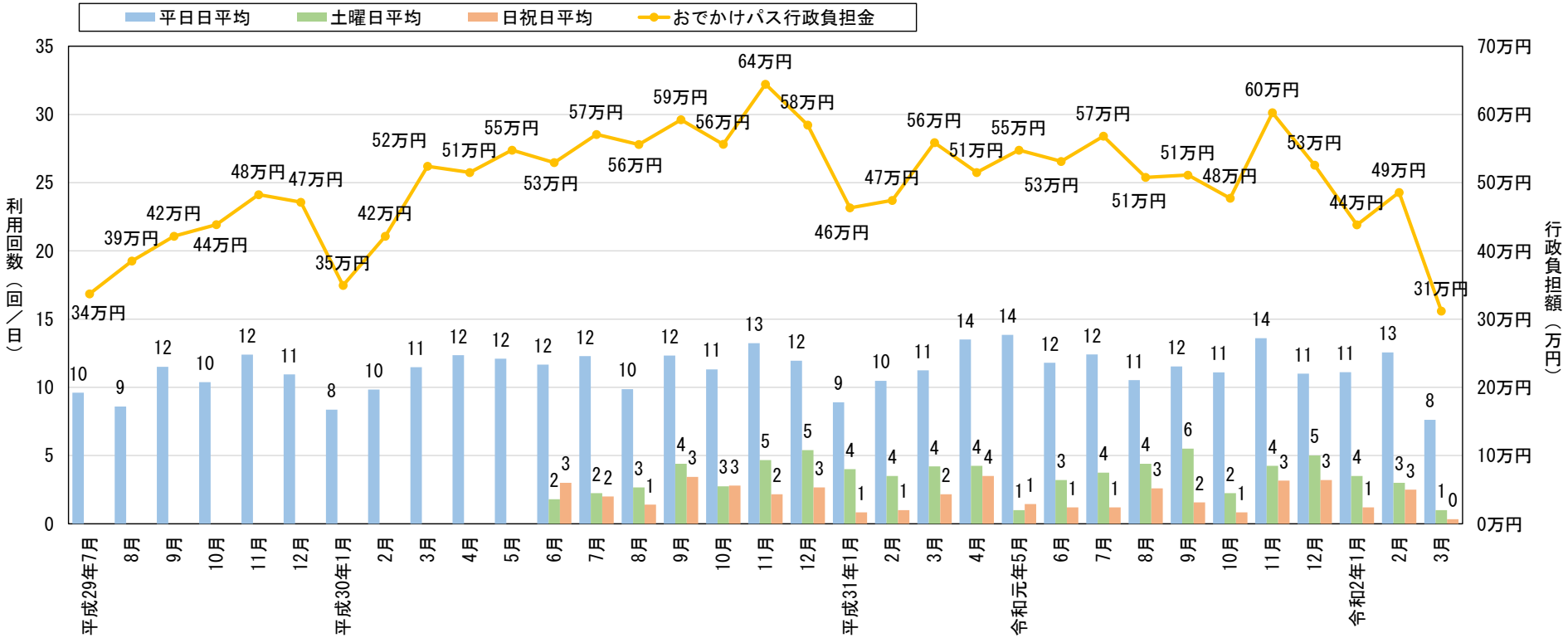
●年間平均は約24.3%(令和元年度)で、平成30年度と比較すると、横ばいとなっている。
(過去3年間の推移:平成28年度:21.7%、平成29年度:22.6%、平成30年度24.0%)



※ひめさゆり日報に基づき集計

(4)おでかけパスの利用実績(令和元年度)

- 平日の利用回数は11.7回／日、土日祝日は1～6回/日で推移している。
- 平成30年度との比較においてはわずかに増加している。(平成30年度:平日11.3回)



※おでかけパス発行枚数：270枚、協賛店店舗数：72店舗（R2.3末現在）
※ひめさゆり日報に基づき集計

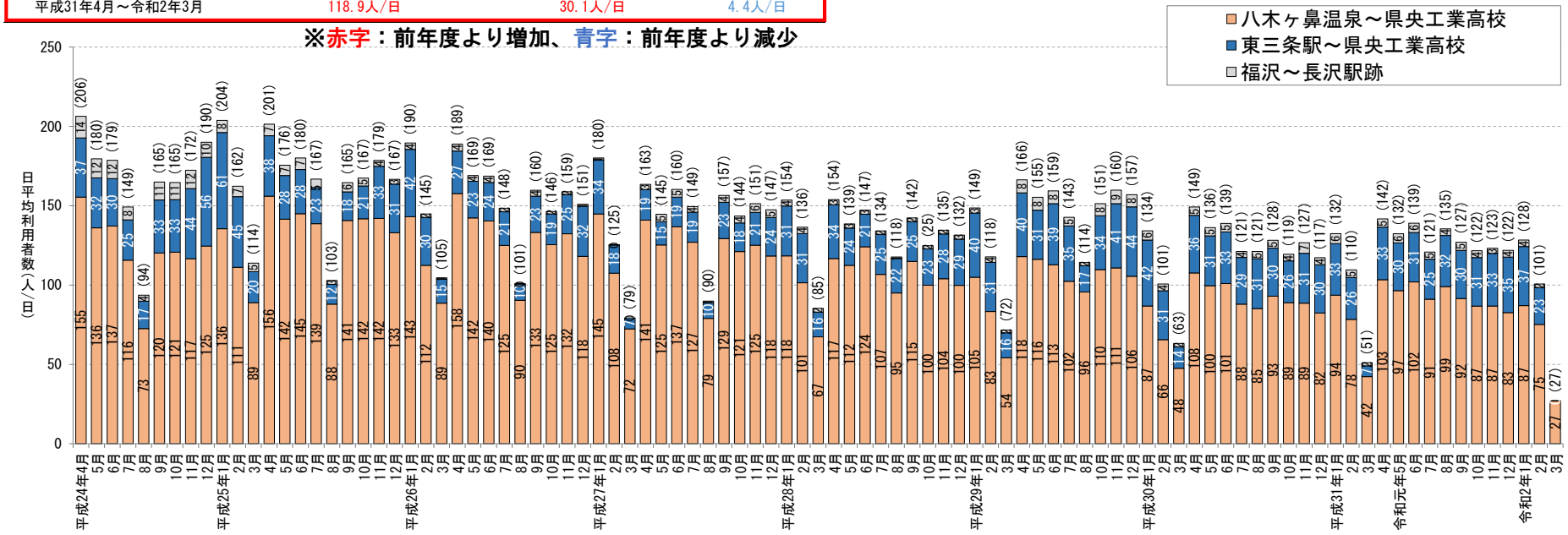
2　高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移（令和元年度）

●平成29年度から路線全体で、利用者数が大きく減少したものの、平成30年度と比較すると、高校生通学ライナーの利用者数は微増しており、福沢線は減少している。

	八木ヶ鼻温泉～県央工業高校	東三条駅～県央工業高校（補助対象路線）※八木ヶ鼻温泉～県央工業高校の内数	福沢～長沢駅跡（補助対象路線）
平成24年4月～平成25年3月	160.2人/日	37.2人/日	9.4人/日
平成25年4月～平成26年3月	162.1人/日	27.4人/日	4.6人/日
平成26年4月～平成27年3月	149.9人/日	22.8人/日	2.1人/日
平成27年4月～平成28年3月	140.0人/日	21.0人/日	3.9人/日
平成28年4月～平成29年3月	134.0人/日	27.5人/日	2.5人/日
平成29年4月～平成30年3月	140.4人/日	36.6人/日	6.8人/日
平成30年4月～平成31年3月	116.6人/日	28.7人/日	4.9人/日
平成31年4月～令和2年3月	118.9人/日	30.1人/日	4.4人/日

※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少



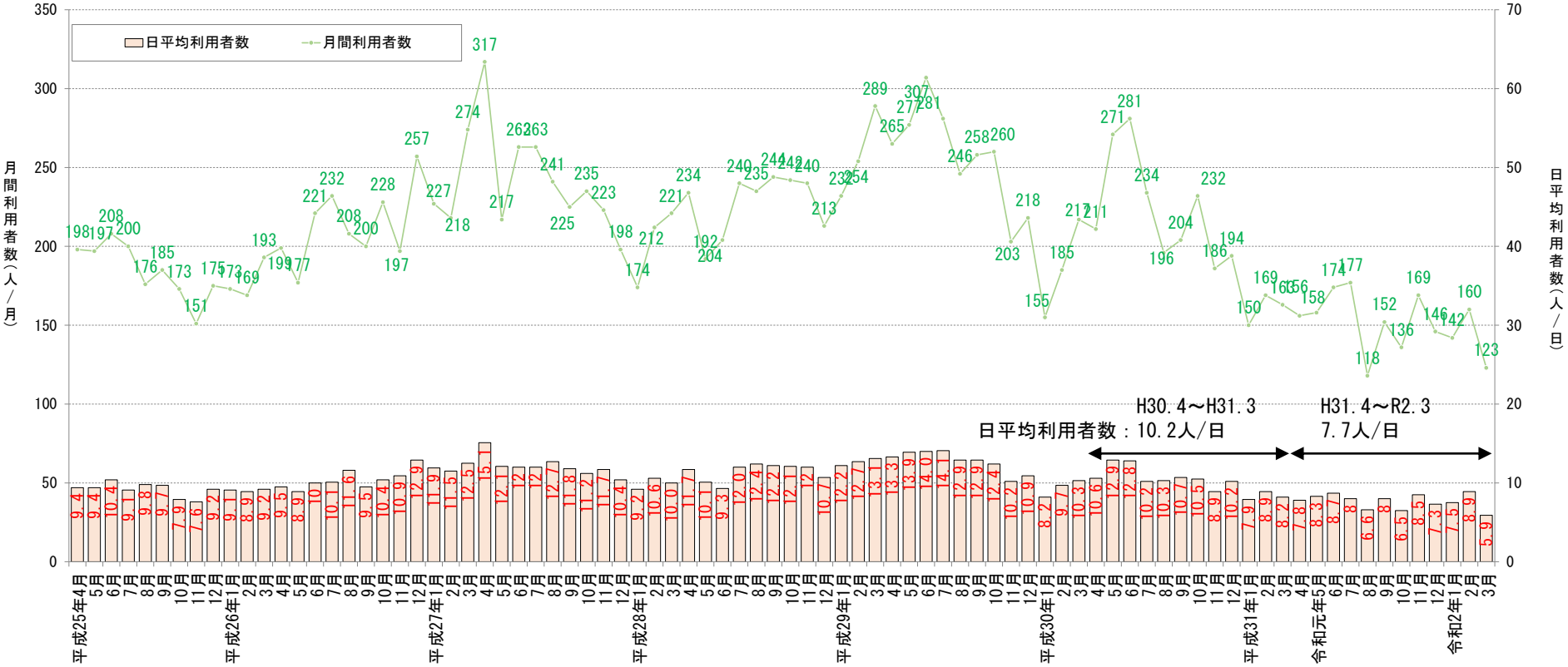
※高校生ライナー利用実績に基づき集計

※（ ）内の数字は合計。合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある

3　井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移（令和元年度）

- 年間平均は7.7人/日（令和元年度）。
- 平成30年度に続き令和元年度も減少となり、利用者の衰退が続いている。
  （11.7人/日（平成28年度）、11.9人/日（平成29年度）、10.2人/日（平成30年度））



※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

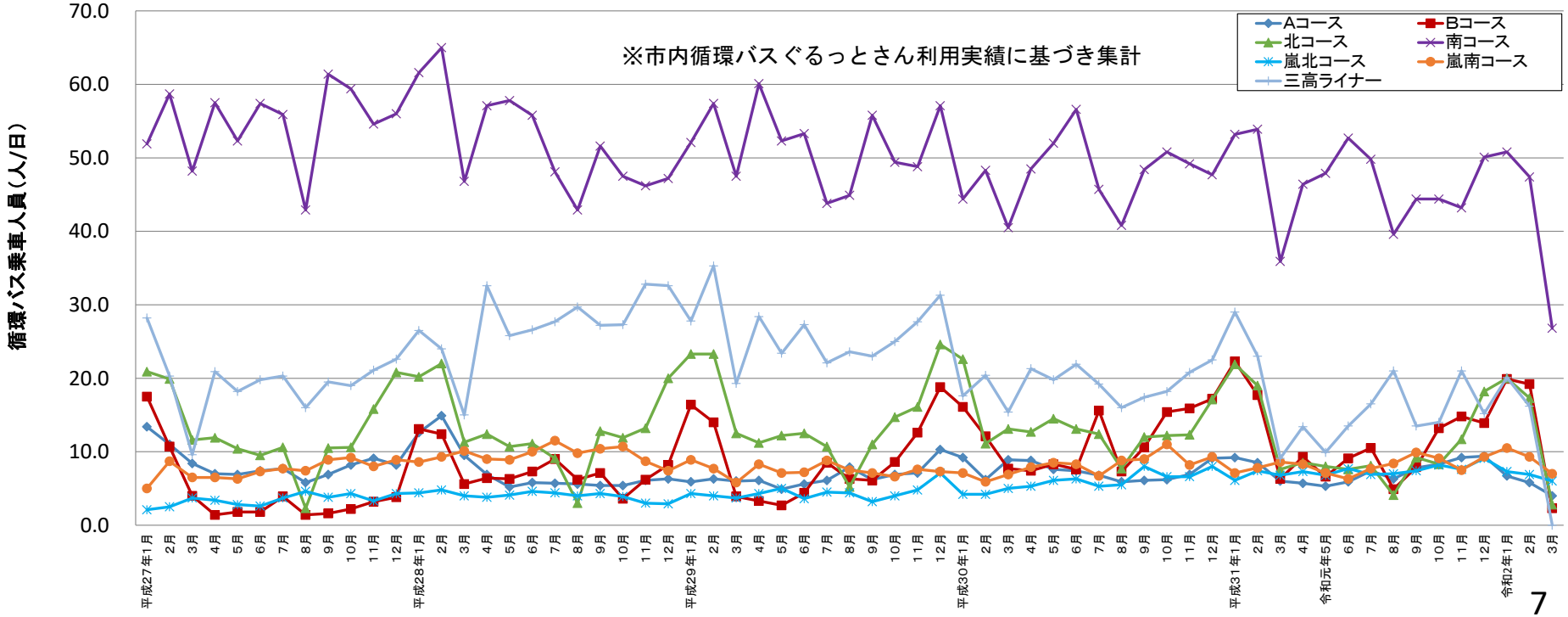
4　循環バスぐるっとさん利用実績

(1)利用者数の推移(令和元年度)

●平成30年度と比較した結果は次のとおり(嵐南コースは横ばい)　※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少

【増加】嵐北コース、【減少】Aコース、Bコース、北コース、南コース、三高ライナー

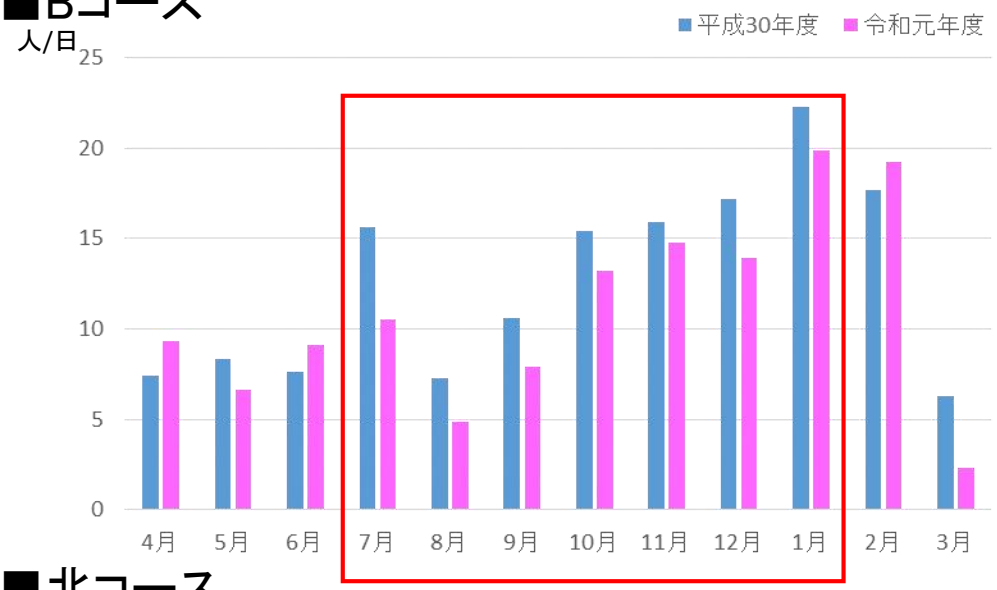
	Aコース	Bコース	北コース	南コース	嵐北コース	嵐南コース	三高ライナー	全体
H26年度	9.7人／日	9.3人／日	13.9人／日	49.4人／日	2.6人／日	5.9人／日	19.6人／日	29,852人／年
H27年度	8.7人／日	4.4人／日	13.0人／日	55.9人／日	3.8人／日	8.2人／日	20.2人／日	30,912人／年
H28年度	5.9人／日	7.9人／日	13.6人／日	50.9人／日	3.9人／日	9.1人／日	28.7人／日	31,708人／年
H29年度	7.1人／日	8.9人／日	13.8人／日	49.9人／日	4.9人／日	7.3人／日	23.8人／日	30,330人／年
H30年度	7.4人／日	13.1人／日	13.5人／日	48.6人／日	6.5人／日	8.4人／日	21.1人／日	30,797人／年
R1年度	6.8人／日	10.9人／日	10.3人／日	45.2人／日	7.4人／日	8.4人／日	15.1人／日	27,244人／年



4　循環バスぐるっとさん利用実績

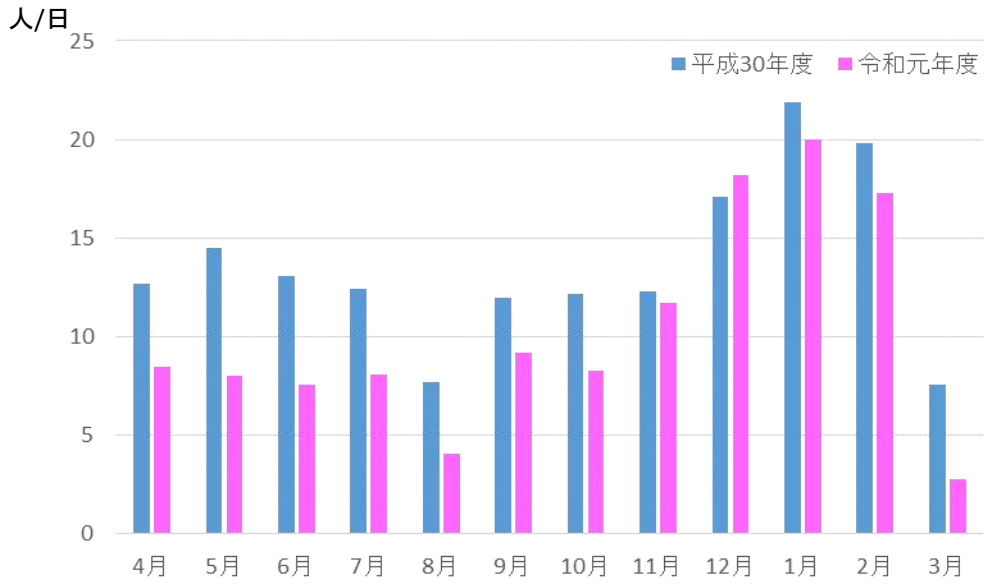
(2)利用者数の詳細分析(平成30年度、令和元年度)

■Bコース



7月～1月まで前年度を下回る利用となっている。

■北コース



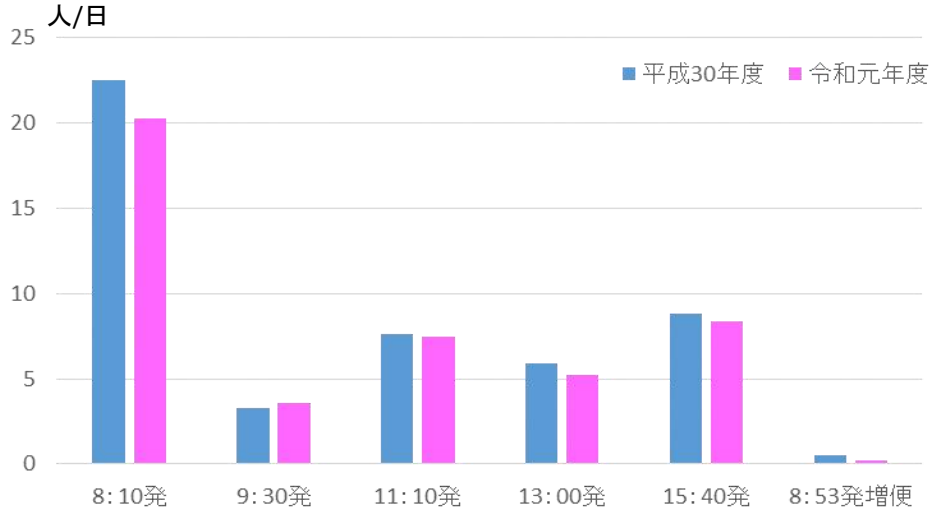
ほぼ全ての月で前年度以下の利用者数となっている。

※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

4　循環バスぐるっとさん利用実績

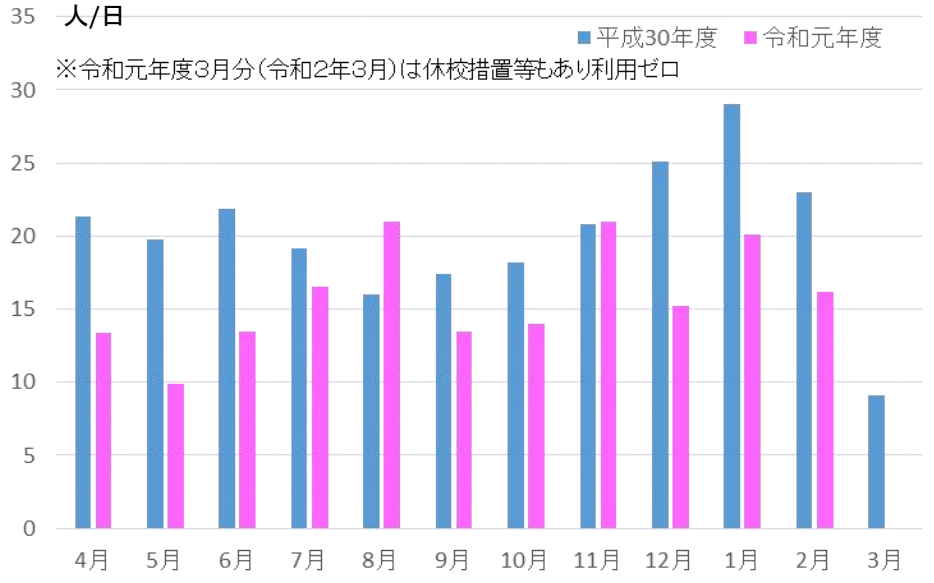
(2)利用者数の詳細分析(平成30年度、令和元年度)

■南コース



9:30発の便を除いて各便減少となっている。

■三高ライナー



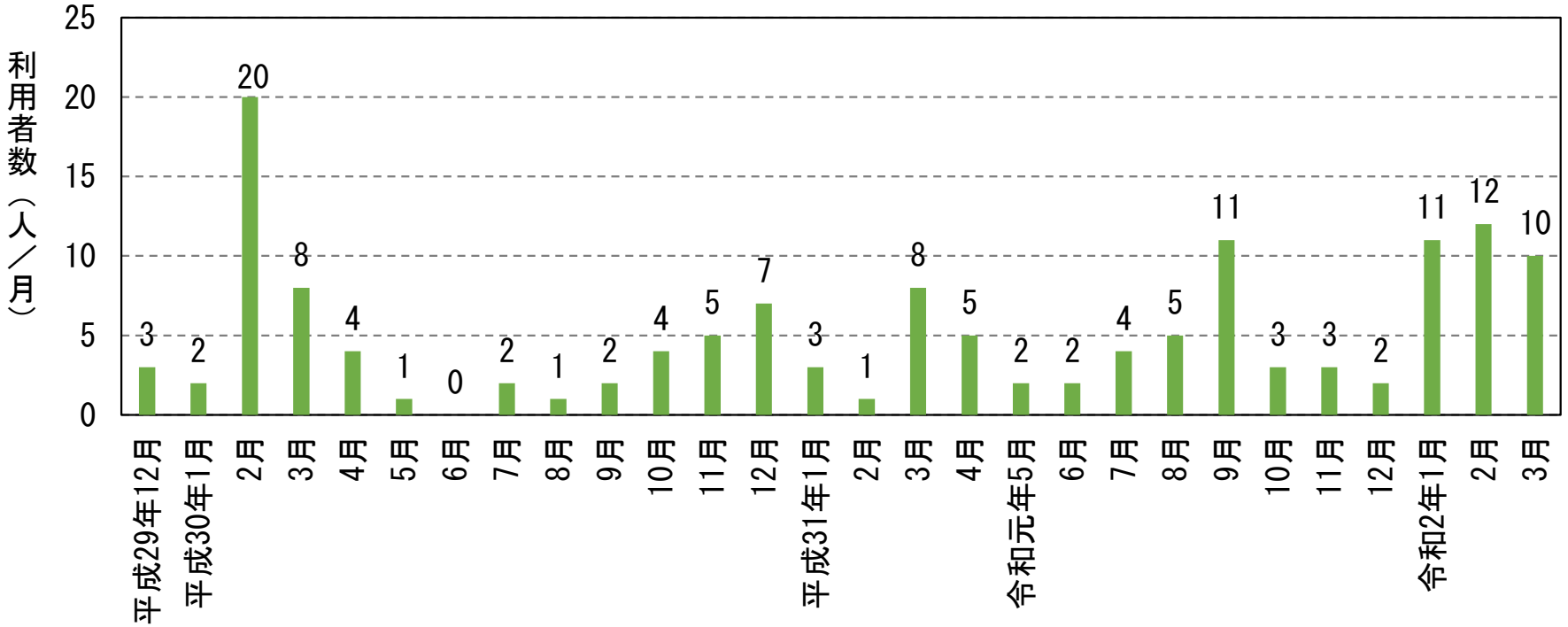
8月、11月の便を除いて、各月大幅に減少している。

※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

5　須頃線利用実績

利用者数の推移（令和元年度）

●令和元年度においても低調のまま推移している。



※須頃線利用実績に基づき集計

6　集計結果の考察と今後の改善策

全体

●新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月の利用者数が、ほとんどの公共交通において大きく減少している。
●今後もこのような傾向となることが予測されることから、状況を確認しながら、下記に記載したような対応策を進めるものとする。

ひめさゆり

●利用者について、平日、土日祝日共に利用者数が減少していることから、時期を見ながら高齢者の集まる機会へ出張説明会を行うなど引き続き、丁寧にPRを行い、利用者の拡大に努めていく。
●複数乗車率については、年々増加傾向にあるものの、複数乗車率向上を目的として実施しているおでかけパスの利用回数は大きな増加が見られない。
おでかけパス申込者数も大きな増加が見られず、何らかの対策を講じる必要がある。

高校生通学ライナー

●下田地域のみならず高校生の数が減少傾向にある中で、引き続き沿線の中学校卒業生にチラシを配布するとともに、東三条駅ー高校間の利用拡大を図るため、沿線以外の市内中学校卒業生や主な利用層である三条高校在学生ににも周知を行うなど更なる利用促進策に取り組む必要がある。

6　集計結果の考察と今後の改善策

井栗地区コミュニティバス

- 利用者数は長らく安定していたが、平成30年度以降は減少傾向となっており、利用離れが起きている。住民の利用を促すためにも、今一度、自治会内で周知を行い、地域の足を守っていく意識の醸成に努めていく。
- 現在実施している地域主体のコミュニティバスの運行内容を必要に応じて栄・下田地域で実施することについても、地元と丁寧に話合いをしながら利用ニーズ等を踏まえ検討していくことが重要である。

循環バスぐるっとさん

- 全体的な傾向としては各コースとも年度毎に増減を繰り返している状況となっている。
- 減少幅の大きい路線は、学生の利用が多い運行路線であり、学校の授業時間に合わせた時間に見直すことで、利便性の向上を図る必要がある。
  それ以外の便においても、安定的な利用を図るべく交通体系全般の見直しを進める中で抜本的な改善策を検討していく必要がある。

須頃線

- 須頃地域北西部の住民の通院手段として平成29年12月から運行してきたものの、利用者が伸びないことから、令和2年3月末をもって同線を廃止する。
- 他方、今年度より、同地域に三条看護・医療・歯科衛生専門学校が開校し、今後も（仮称）三条市立大学や県央基幹病院などの公的施設が整備され、公共交通の需要が見込まれることから、既存の路線バスを延伸するなどして利便性の高い交通への見直しを行う。